

令和5年度第2回三原市廃棄物減量等推進審議会 会議録

令和6年2月20日（火）14時30分～
三原市役所305会議室

会議次第

（1）諮問事項

古紙等の行政収集のあり方について（第2回）

出席委員 12名

伊藤 京三、岡田 俊徳、吉川 征司、角広 寛、竹原 茂、中川 賢示、
平野 志摩、三苫 好治、名井 正子、向井 浩司、村上 純子、渡邊 真功

欠席委員 3名

小池 雄大、内藤 久雄、安田 照美

庶務 森坂生活環境部長、宮地環境施設課長、外2名

傍聴者 2名

配付資料

- 資料1_古紙等の行政収集のあり方について（第2回）
- 資料2_広島県内自治体大型ごみの収集状況一覧
- 配席表

【議事】

○諮問事項「古紙等の行政収集のあり方について（第2回）」審議

【質疑応答】

敬称略。（ ）内は、庶務の補足。

議題	古紙等の行政収集のあり方について（第2回）【資料1、2】
三苫	説明頂きました。何か意見はありませんか。
角広	資料11番で県内のリサイクル率ですね、「データ上、三原市が9.6%で最低。ただし、店頭回収を含むと真ん中ぐらいになりますよ」という説明でした。他都市も店頭回収を含むデータでしょうか。 他都市が、店頭回収を含むのであれば、14.6%で平均よりもちょっと低い程度なんですけど、他都市が店頭回収を含まないデータであれば、三原市が最低なのは明らかという判断でよろしいですか。
庶務	お示ししていますリサイクル率につきましては、広島県の平均、白い丸になっている折れ線グラフですが、これには店頭回収は含まれていません。表になっている、それぞれの市町の数字も店頭回収は含まれていません。 三原市の特徴として、「もやすごみ指定袋を導入している」というのが1つありま

	す。その結果、古紙の店頭回収をされているスーパー等が増えましたので、それは結局、市民の出された古紙については、もうリサイクルができていないのではないかということで拾い上げた数字が 14.6%となっています。厳密な比較にはならないとは考えておりますが、他市町で古紙のスーパーの店頭回収というのがそこまでされていないのではないかという思いはありますので、「参考にしたい」というような数字で市の計画では 14.6%という数字になります。
角広	分かりました。 ただ、ここへおもむろに、三原市だけ店頭回収を含んだデータを入れられると三原市がかなり高いのではないかと、勘違いする。このデータをちょっと比較する正確性には欠けると私は思います。県内で最低レベルというのは間違いないと私は感じています。
三苫	はい、ありがとうございます。大変重要なご指摘だと思います。 他市町の店頭回収率と言いますかそういったものの数字がどこかにあるんでしょうか。
庶務	広島県のごみの計画では、県としての店頭回収の数字を拾っていかうとはされています。難しいのは、系列店舗でどこの店舗から出たのかわからない、尾道で取って三原で取って東広島で取って広島に集まるみたいなようなことだと重さがわからないというようなことがありますして、広島県内ではいくらというのが分かるのですが、それが各市町ではいくらというのがわからない状況があるというのは伺っております。他の市町では、あまり使わない数字ですので数値を取ってあるかと言うと分からないものになります。
三苫	委員が今ご質問したように、最低とは言いませんが、最低レベルの数字の可能性が非常に高いということですね。 はい、ありがとうございました。 その他、何かありませんか。
中川	15 ページの「6 古紙の行政収集の影響」で、アンケートの結果について「行政が収集をしたら、地域はみんな止めるよ」という意見がありました。行政が始めたら、全部やっだらいけない、止めてくれということですか。今までみたいなことはできないということですね。
庶務	15 番のアンケートですが、集団回収されている団体に「行政収集をもししたとしたら、これまで続けていた活動はどうされますか。続けますか。止めますか。」というアンケートを取りました。「奨励金を増やしたらどうですか」「奨励金を据え置いたらどうですか」という条件設定もあったのですが、「奨励金があってもなくてももう止めます」という回答が 17%ありました。その理由としては、「今もうしんどくなっていたのが、やってくれるんだったら、助かるなあ」というようなイメージで捉えております。
中川	廃棄物は、「捨てたらごみそれを集めるとお金になる」ということを小さい頃からそのイメージを持っている。それが言えなくなるかもという不安があったもので（質

	問しました)。 私は、老人会ですが、80 歳や 90 歳の人が色々な所に置き場があったときに、なかなかもって行きづらいですね。そしたら、今の場所でも同じではないかという気がします。 もし、(新たな施策を) やるとして、やった後に色々検証して、そういう方々の為に、戸別収集の縛りをもっと緩和していただく方向へ進めていただきたいと考えております。
三 苦	はい、ご意見ありがとうございました。 その他、何かございませんか。
岡 田	2 点確認ですが、21 ページと 28 ページ、収集委託料についての説明で、3 億円が古紙の行政収集で約 886 万円増える。一方で、28 ページの売却金と奨励金、これを比較した場合、どちらの方が上回るのかなというのが 1 点。 もう 1 つは、27 ページの写真の拠点の回収ボックスの写真があると思いますが、ここの中で回収される品目、新聞・雑誌・雑がみ・ダンボールがありますが、ここの中の市の拠点としては、何がウエイトが多いのか、例えば、ダンボールが 80%とか 50%とかというのがわかりますか。 また、32 ページのところに「古紙回収ボックス、0 円で業者に引き渡してます」と書いてあります。そこの部分を含めて、3 億円と売却処分、どっちがどうなのか、全部は言えないと思いますが。
三 苦	はい、ありがとうございます。 庶務、お願いします。
庶 務	回収した古紙の売り上げについては、第 1 回の審議会で触れましたが、今回の資料ですと、21 番になります。 行政収集した場合、「増加になること」で、委託料が約 886 万円増えるの見込んでおります。また、「削減になること」で、古紙の売却益を約 45 万円あげております。差し引きすると、840 万円くらいの持ち出しが増えるという見込んでいます。 古紙の売却益につきましては、今、新聞・雑誌・ダンボールというものが混載になった状態でそれを問屋に持って行きます。これは、(売却) 金額的には安くなる集め方なのですが、1 k g 1 円くらいかなという売却益を見込んでおります。
三 苦	紙の種類内訳はわかりますか。
庶 務	古紙回収ボックスの品目ごとの割合ですが、令和 2 年度の割合で、市の設置している 4 所の合計で新聞が 26 t に対して雑誌・雑がみが 26 t、ダンボールが 16 t となります。段ボールは容量は大きいので半分くらいダンボールが占めるのですが、重さ的には軽いようなこととなります。 古紙回収ボックスの費用について、歳入歳出 0 円となっています、普通、集団回収の場合は、その団体が、積み込みをお手伝いをするというのが慣例であるそうなのですが、市の回収ボックスについては、市の職員が関与しておりません。回収は全部業者さんが行っていますので、その手間と費用がどっちがどうかというのは分からないですが、もうそれは言いつこなしですよということで、実施しています。

	新たに拠点回収をしても同じようになるのかなと思います。市は売り上げは0円ですし、業者さんの委託料も0円になるかなと思っております。
三 苦	はい、ありがとうございます。
岡 田	今の説明でよくわかりました。
三 苦	その他 何かありますか。
角 広	22 ページの 10 番収集カレンダーの右側の表で、再資源化量が 338 t 増えるということになっています。現在、もやすごみの 15%が再資源化可能ではないかというデータが最初にございましたが、15%がリサイクルされて 338 t ではあまりに少ないですよね。338 t というのはどういう出し方でされたのですか。
庶 務	第 1 回の審議会でご説明させていただいたのですが、ごみの中に出ているものをちゃんと分けていただけるようになるかと言いますと、有料化してもこの中に古紙が入っていると言うような状況もあります。古紙として分けたときに、どれくらい協力していただけるかという想定したものが 338 t です。これはアンケートへの回答率とか、回答していただいた方の中で、もうすでに古紙類の集団回収をされてない方の割合から計算しています。結局、やってみないと分からないですが一応計算してみた、という大雑把な計算にはなっております。
角 広	ありがとうございます。 338 t というのは、結局 15%を 100 とすると、3 %程度が増えるという 15%のうち 5 分の 1 が資源となるだろうという予想ですね。ちょっと低すぎる値かなと。 前回も私、指摘しましたが、「もやすごみの中に古紙類を入れても良い」ということ事態が、今後 10 年後を考えたときには、時代遅れになってくる。やはり「もやすごみの中に古紙類を入れてはいけませんよ」と言うことにすれば、15%のうち 10%くらいはリサイクルできるのではないかと私は考えます。 例えば、(ステーションの分別で) 容器包装を変更したとき、厳しくやりましたよね。容器プラのマークがないものがちょっとでもビニール袋に入っていたら全部残されました。当初は、市民も非常に苦労したのですが、今ではもう慣れて当たり前のようにちゃんと容器包装とただのビニールを分別出来るようになりました。同じように、もえるごみについても、「もやすごみの中に新聞紙を入れてはいけませんよ」、「ダンボールをちぎって入れてはいけませんよ」、「イエローシールを貼られますよ」と言うふうに、できるだけ早く三原市も変化していけば、2 年経てば皆さん慣れると思います。10 年後には本当にリサイクルの進んだ街になるのではないかと私は考えています。 (もやすごみに含まれている古紙類が) 15%で、希望的観測として 10%分がリサイクルされれば 1,500 t のもやすごみがリサイクルに回ると思います。その販売代金は、先程 1 k g 1 円と言われましたが、混ぜごちゃにすると 1 円ですが、新聞紙は 1 kg 5 円です。雑誌類も 5 円くらい、雑がみは、1 円程度だったかと思いますが、分別をすれば、高く売れるわけです。 今、本郷町南方で町内会として、集団回収をしています、ちゃんと指導に従っ

	てそれぞれ分別しています。やり方は、ごみステーションに出すだけ、普通のごみと同じように出す。業者が勝手に持って帰ってくれます。ですから、立ち会う必要はありません。普段のごみ出しと集団回収が、同じような形です。料金が発生するかというとしません。業者は新聞紙 5 円を売ってそれを収入としてその運賃を全部独立採算でやったださるわけです。そういうシステムが三原市のごみ業者の方にも浸透すれば、8,000 万円の増がなくても実質的に業者の方は儲けになります。先程言いましたように、「もえるごみで雑がみを出してはいけませんよ」ということにすれば、たくさん出てきます。業者の儲け、効率が良くなります。もっと良くなります。そうすれば業者も「僕にやらせてくれ」と手を上げてくださると思います。南方では行っているの、出来ると思いますが、いかがでしょうか。
森坂部長	貴重な意見ありがとうございます。 先程、庶務からお答えしたのは、現状から古紙の行政収集に切り替えた場合、どのくらいの数値が見込めるかということで説明しました。 角広委員さんのご意見は、最終的な目標値として目指していくべきものと思いますが、そうなるには、収集体制の見直しであるとか、市民の方の意識の変化といったものが全て揃って、達成されるものと考えます。ただし、それには時間がかかりますので、今のシステムを変更するには、当面は一定の費用が発生することは想定しておかないといけませんし、リサイクル率の方も最初からその全体の 10%にはなりませんので、そういったことを時系列でみながら検討していく必要があると考えております。 また、収集効率も行政収集でステーション回収した場合には、どれだけの量が出るかというのは全く分かりません。業者さんも行ってみたら、ほとんど回収するものがなかったというケースも当然あります。そういったリスクも含みながら平準的な料金を設定していかなければならないというところでは、個別に P T A とか町内会と話をしながら、「4 t 一車分あるから取りに来て下さい」というのと、「行ってみないとわからない」ということであれば、やはり料金の設定の仕方というのも業者さんとの調整が必要になってくるところもあります。また、紙も当然、先程も言われましたように新聞紙 1 k g 5 円とかで恒久的に売れるものでもございません。市況で、当然上下いたします。 そういった中で、価格の高いものとしてアルミ缶等の有価物については、いったん市が引き取って不燃物処理工場の方で分別をして、それを整理をして入札をした上で処分を今していますが、紙について、(同じように) 行政が中間処理施設的な方法をとるとなかなか難しいところもございます。業者さんへそれをお願いするとなると、その費用もみななければいけない。 また、入札をしてより条件の良いところという話になると、収集業者が固定できないこともありますので、ステーション回収と入札の両立は難しいという課題があると思います。そういった複合的な背景を総合的に判断をして、どういったスキームが三原市において一番有効なのか、経費も削減できるのか、その上でリサイクル

	率が上がるのか、というところを判断をして今後進めていく必要があると考えております。 おっしゃられたように目標を大きく持つということは重要なことだとも考えておりますし、そういったところも貴重なご意見をいただければと思っておりますが、複雑な背景が色々絡み合った中で、施策を進めていかなければいけないということは、ご理解をいただきたいと思います。
三 苦	ご説明ありがとうございました。 市の方は、現実的なことをやらなければいけませんが、目標というのは、非常に大切ですので、今日は非常に良いご提案をいただいたと思いますし、いくつか代表的な例いただきました。 とりあえず、本日ここでお話をしたいことは、(庶務からの)説明に質疑応答をすることと、それをベースにして今後の方向性を、こういった方向に進めるかということですので、40 ページにありますもの(選択肢)から選んでいきたいと思います。(方向性が)決まらなければ、それは仕方ないというところがございます。 皆さん、いかがでしょうか。何か内容について疑問に思うところはございませんでしょうか。
角 広	もう 1 点。拠点回収で古紙を増やそうということについて、将来的に拠点回収が非常に効率的な方法だと考えますが、今市民から要望のある、「容器プラスチック」、これがかさばって困るものです。 アンケートで困ってると回答した方々、「容器プラスチック」をたくさん出される家庭というのは、車で買い物をされていると思います。そういう方は、いつでも出せる処があったら、家の中、台所がいっぱいになったら、車でどんどん出しに行かれると思います。 例えば、今ある拠点回収、各支所とか、そういった所の隣にもう 1 つ「容器包容プラスチック」のボックスを設ければ、いつでも出せるわけですからそちらへ流れていきます。(収集)回数を増やすよりも、便利の良いシステムになるのではないかと私は考えます。 ですから、容器包装やプラスチックについては、拠点回収を増やすという方向が、一番多くの方に満足していただける解決方法ではないかと私は考えますが、いかがでしょうか。
三 苦	はい、ご意見ありがとうございます。これは何か市の方から、ありますか。
森坂部長	拠点回収については、先程委員さんの方からございましたように、人口が減少しているという状況を踏まえますと、これだけ広い地域を面全体で整備して収集効率を上げていくというのは、なかなか難しい状況があると思います。そういった点では、どの程度の範囲で置くかという課題はあるにしても、拠点を整備をして回収をしていくというのは、すごく理にかなった方法との考えも当然ございます。 ただし、議会からご提案のありました、身近なところで、ごみを出せて、更にリサイクルも上げていくという、もう 1 つの目的もありますので、そこを総合的に判

	断をして、こういった方法が三原市にとって良いのか、というところが市として一番悩んでいるところです。 現状、市においてどちらが良いとか悪いとかという方向性を持っているわけではございません。皆さまに色んなご意見をいただいて、それを基に市として方向性を出していきたいと考えているところです。
三苦	はい、ありがとうございました。 これから議論していく中で、重要な視点をいただいたということで、今後、市の方で考えていただければと思います。 その他に何かございませんでしょうか。何か質問に関すること。
角広	最後の 39 ページですね、「大型ごみの戸別収集」であります。軒先で戸別収集することについて、「有料にせざるを得ない」というようなご提案がございました。今まで不燃物については、ステーションなら無料だったのに今度有料になるという懸念も示していただきました。 私は、ステーションに出される物については、可燃物も不燃物も無料で、家に取りに行くのであれば、千円くらいの負担でと考えている。 ただ、ステーションに出す物も、あまりに大きい物は、やはり有料にすべきではないかと思う。ベットとか、例えば 2 m 以上のものであれば有料で、千円か二千元にするということであれば、皆さんも納得していただけたと思います。 全部有料か無料かどっちかだけではなくて、そういう分け方もできるのではないかと、考えました。
三苦	ありがとうございます。今回、ご提案に近いことを今いただいておりますので、ひとまずそういうご意見をいただいたということで、今後整理していきたいと思います。 ちなみに、方向性の 4 番目に関係するということで、私も「あれこの金額は」と思うところが 1 つありまして、処理券が 51 円ですか、すごく安いんですね。これは何年前ぐらいからこういう状況だったんですかね。
庶務	もやすごみ処理券はですね、指定袋と同時に制度が始まったんですけれども、平成 25 年度から始まっております。当時、もやすごみ 1 円 1 円ということでスタートしてましたので、1 番大きい 45ℓ でしたら、45 円でした。それで、指定袋に入らないような布団等については、指定袋 45ℓ より高い値段で、それまでに有料の可燃ごみ処理券制度がそもそも 50 円でしたので、それを引き継ごうかというようなことだったと思っています。
三苦	平成 25 年くらいから変更がないということですか。
庶務	そうですね、消費税のみの変更となっております。
三苦	むしろ、そういう所があまり適正化されてないような気もするんですがどうなんでしょうか。 ここでですね、決めるときにこれを変更しないのを前提に、今から 4 番目を考えましょうといっているのか、これは今後かなり早いタイミングでもう少し提案いただいている千円とか三千円とか場合によっては、それぐらいまで変化する可能性が

	あるんですよと思いながら、その４番目を議論するとまた結論が違ってくるような感じがするんですよね。 当面ここは、51 円に据え置きで変化しないと考えながら、今回、４番を考えるべきですね。
庶務	なんと申しますか、すごく悩んでいるところでございます。 それぞれの市町で大型ごみの考え方が違います。三原市の場合は、もやすごみ処理券で貼って出せる（大きさの）物は、51 円ということになっていますが、どこからどこまでの（大きさ）ものをどうするかということを今後考えていかなければいけないという課題もあります。しかし、細かいことを考えるとなかなか前に進まないで、「戸別収集があったほうが良さそうだな」、「いややっぱり今のままでいいんじゃないかな」、（戸別収集について）もっと掘り下げていこうか、止めておこうかなといった感覚的なところで議論していただければと思っています。
三苦	はい、大体わかりました。その他、何かご質問ありませんか。
渡邊	私は、三原市民ではないのですが、ごみの収集とかについては、三原市の中で住まわれている方が考えていかれるのが良いとは思いますが... 直接お金を払う人は、安い方が良いという意見がすごくあると思います。ただ、直接払うだけではなくて、皆さんが負担をされている住民税等からごみ処理費用が出されています。 便利になるのは良いけれどそれに対してコストがかかる。コストは直接だけでなく見えない部分でも発生してくると思います。ですので、さっきの委託費にしてもそうですが、例えば、色んなものを拠点回収すれば拠点回収へ流れていく。ただ、そうすると収集コストとしては、悪くなって、今度は委託費の単価としては上がってしまうという部分が出てくると思う。そういった点も含めてどれが一番効率的かということで庶務の方も考えて、計算もされていると思うので、そういった所、直接自分が負担するだけでなく、税負担という部分を含めて考えられた方が良いのかなと思います。
三苦	はい、大変俯瞰的なご意見ありがとうございます。大変重要な視点になると思います。その他、何かありませんか。 それでは、ご質問が無くなったようですので、とりあえず 40 ページについて順番に整理していきたいと思っています。 まず、「古紙の行政収集について」ということで、皆さんにご相談申し上げます。 ここには、4 つ案が出ていますが、それぞれですねア・イ、まあウも含めて考えますとそれぞれメリット・デメリットがございます。もちろん両方そのまま現状維持でかまわないということも当然あると思います。その 4 つの案の中で、皆さんそれぞれメリット・デメリットを充分議論し合ったところですけども、どのようにお考えでしょうか。何かそのこれが良いんじゃないかというご意見、あるいはこれは保留でも良いんじゃないかとか、何でも結構です何かございませんでしょうか。
岡田	我々のスーパーマーケットの立場から申し上げますと、今、中四国で 400 店舗ぐ

	らい、三原市にはマックスバリュー本郷店があるんですが、さっき写真で見た拠点ボックスを駐車場に設置していますが、それは 400 店舗中 15 店舗ぐらいしかありません。しかし、店舗では、毎日色んなものが納品されるとき例えばソーセージ 1 つとっても、段ボールで来ます。店舗のボックスが満杯になるぐらい毎日集まります。お客さんに見えないところで、朝と夕方、段ボールだけを業者さんが回収しに来てくれます。どの店舗も大体そのような感じです。大体の金額でいうと、お店の規模によって少なくとも 5 万円、多いところで 30 万円とかです。段ボール単品で集めればすごく利益になります。 皆さんがいつもお店に出されている店頭リサイクルで、ペットボトルとかトレートかも売却益が確かにありますが、配送コストで真っ赤っかなんです。それをまかなっているのが、段ボールです。すごく利益につながるので、絶対にやった方が良いでしょう。 先程、コストの部分と売却益のところを質問してもらいましたが、効率良くやれば、必ず収益が上がるし、市民の税金も下がっていくはずですよ。古紙に関しては、私もスーパーマーケットからしたら、リサイクルの優等生ですので、効率よく進めていったら、必ず財産になるので、進めていった方が良いでしょう。
三苦	貴重なご意見ありがとうございます。 何か市民の側からごいませんか。いろいろな地域で活動されている方からのご意見として。どなたでも。
角広	マックスバリューさんのお話がありましたが、私もよく利用させていただきますが、いつも満杯なんです。出そうとしても満杯だから出せないというようなことがあります。やはり、市民の皆さんは、いつでも出せる拠点回収の増加を、特に買い物の多いご家庭は、車で買い物をされますので、拠点回収に持って行かれる。効率も良いということで、そういうところから進めて、拠点回収も進めていくことは大事なことはないかと感じております。
三苦	はい、ご意見ありがとうございます。その他の方、何かごいませんか。
吉川	今日の資料の 15 ページ、「古紙の集団回収について、奨励金の有無に関わらず継続しない」のところですが、やはり担い手不足ということで、ここ（集団回収）を強化をしても地域の諸団体、老人クラブとか P T A の方々といった受け皿となる住民の方々の活動が、これから盛り上がっていくとは考えにくい情勢になっていることは、受け入れざるを得ない状況だろうと思います。 もちろん、関心を深めて、こういう取組みを後押しをするということも必要ではございますけれども、市民団体の方が、ボランティア・手弁当で人件費をかけずに活動としてやっていくとなると、なかなか厳しいところではありますので、ここを単価を上げて強化をするとかいうよりは、拠点回収ですとか戸別収集といった方向が（良いと思う）、住民活動に大きな期待を寄せていくというのはちょっと厳しい情勢にあると言わざるを得ないと考えています。
三苦	ご意見、ありがとうございます。その他、何かごいませんか。

中川	老人クラブなんですが、拠点回収の場所が、なかなか浸透していないと思います。 例えば、「本郷支所であれば本郷の住民だけしか持って行けないのだろうか」というような話をされます。その辺をしっかりと浸透すれば拠点回収に持って行くと思います。 ごみステーションというのは、町内会が全部管理しております。綺麗にしております。「今日は残ってない。よく皆さん分別していますね。」と担当の人が喜んでおられます。そういうところに、「古紙は行政が管理するよ」、「普通のごみは町内会が管理するよ」となると、どうなのかという気はいたします。 もし、同じ所でボックスだけを置くんだったら、そういうことを考えてもらわないといけない。どこもだいたい小さいボックスです。だから、日にちがズレていけば別ですけど、もし古紙と一緒に置いたらごみが入らないということがあるので、それらをどうするのかも踏まえて、ごみステーションの収集でいいのか、今ある拠点箇所でもいいのか、公民館にしたのがいいのかを考えていただかないと、迷うのではないかとことがあります。 今、高齢化が進んでおりますので、あまり難しいことに変えられると、また、分からなくなるという方が非常に多くなります。これから、認知の方も増えてまいります。そういったことを含めて、あまり変えるということは、いかがなものかと私は思います。
三苦	ありがとうございます。 どうでしょうか皆さん、大体ご意見出尽くしたと思いますが、私なりに皆さんのご意見を集約しますと、例えば、40 ページのアとイでしたら、今のところ、ア（古紙のごみステーションでの収集）は非常にコストが高くついてしまうので、イの拠点で回収をとということになってくるかと思います。一方で、「それすら複雑になってめんどくさい」という話も出てくるとそれはもう両方とも検討しないといえますか、現状維持のような発想も出てくるかと思います。 これ以上議論してもなかなかまとまらないと思います。 方向性としては、現状維持か、あるいは変えるとしたら公民館等の拠点回収かだと思います。しかし、（拠点回収は）今の試算してる方法よりも効率が上がるかもしれないので、今後その辺を精査して、三原市に合うより良い方法を考えていくという方向性になると思います。 （選択肢を）2つ選んでいることになるんですけども、今後、検討した結果、「現状維持がいい」という結論に至るかもしれないし、「拠点回収をやっ払いこう」、拠点回収が公民館等以外のレベルになるかと思うんですけども、それでやっ払いこうとなるかもしれません。 それ（拠点回収）は、今の現状の試算でも、実はかなり低く抑えられていることかと思いますが、その辺りを現実的な線として考えていったらという提案ですけども、いかがでしょうか。
角広	私は、やはり方向性は、今の現状がですね、「県内最低」これはやはり変えていか

	なくてはいけない、もうこれは切羽詰まった状態だと思っております。 担当の方には、本当にご苦勞をかけると思いますが、10年後を見据えた提言を今しておかないと手遅れに、ますます取り残されるのではないかと思います。そういう意味で私は「両方とも検討する」という考え方なんですけれども、検討ですからね、決定ではありません。 皆さん今お考えをそれぞれお持ちだと思います。皆さんがどう思っただけでいいのかを伺って、バラバラということもあるかもしれませんが、ある程度「これがいいよ」というようなことであれば、そちらの方向でということでどうでしょうか。 議会の方から提案されて随分たっておりますので、「また決定を先に延ばす」ということで議会が納得されるかというような懸念もございます。もし、意見がまとまるようであればですね、その方が良くと思います。難しいでしょうか。
三苦	「どうですか」ということで皆さんの意見を広く集めましたが、意見が出てこなかったわけですが、それを個別に当てていって、聞くということもできますが、なかなかちょっとそれは、どうでしょう。こういった場ですので、ご意見がある方は、もうご発言されているという前提で進めさせていただければと思います。 今、色々な方から意見がありました。アとイの両方を検討する。その結果ですね、イに集約していく可能性もございますし、場合によっては、もう両方とも検討しなくなる可能性もございます。私たちは、今、いくつか代表的な例を見ているだけです。これを精査すると、また、色んな所に問題点が出てくる可能性もございます。ですので、検討するとしても、まずは現実的な点を優先的に検討してみてもいいかなと思っています。その優先的なものが、まずはイを検討してみたいかながでしようというところです。というのが、アについて試算いただいているものが、なかなか説明しづらくなるような、高い試算が出てまいりました。もちろん（角広）委員がおっしゃたように、色んな所をブラッシュアップしていけば、もっとコストは下がってくるのかもしれませんが、それを進めていくのに時間もエネルギーもなかなかかかってまいりますので、まずは現実的なところで、イを進めてみてはいいかなとは思っております。 いかがでしょう。やはり目標としては、委員のおっしゃられているところにいきなりたいと思います。しかし、現実的なところとしては、拠点回収で進めてみてはどうかなと思っております。 皆さん、何か意見はございませんか。
中川	私は、拠点回収で良いと思います。 拠点回収を皆さんやりましょうという発想で、それが場所はどこであれ、そういった方向にすればよろしいと思います。今でも拠点回収をやっていますが、それを増やすという解釈でみれば、結構プラスになるのではないかと思います。それで検討してみて、もし駄目なら、色んな諸条件で難しいのならまた方向を変えたら良いと思います。
三苦	はい、貴重なご意見ありがとうございます。

	変えることに抵抗を持ってらっしゃる方も一方ではいらっしゃることも考えれば、極端なところ、一番理想的なところであるとは思いますが、なかなかそこを一気に目指すというのは難しい気もしております。 すいません。私はそのように思いますが、皆さんいかがでしょうか。
竹原	（拠点回収について）各町内会で、場所を決めてもらえれば良いと思います。行政がここでないと、公民館等の施設でないと駄目だというのはなくて、地域でベストなところを提案していただいて、そこに許可を取って設置をしていく。そういうことであれば、地域の方も利用しやすくなるのではないかと思います。
三苦	はい、わかりました。 イを提案したいと思うんですが、いかがでしょうか。
全員	異議なし。
三苦	①については、イでまとまったといいますか、一応この案としたいと思います。 ②・③をそれぞれ個別にやってもいいんですが一緒に進めたいと思いますが… ②はどうする、③はどうする、と個別にやりましょうかね。 では、②「容器プラの収集頻度を増すことについて」増す方がいい、変えない方がいいということを方向性を決めようかと思いますが、今、現状、何か大きな不満が出てきている訳ではなかったというふうには思っております。 この件について、何か委員の皆様で何か別の意見をお持ちの方がいらっしゃるでしょうか。
角広	もう1つ選択肢として、拠点回収を増やすということを先程提案したわけですが、可能性としてですね。
三苦	このことは、まずは、収集頻度を増やすか増やさないかということで、拠点の場所を増やすかどうかということとは、ちょっと切り分けて考えたいと思います。 まず、②の頻度を増やすか増やさないかということでいえば「変えなくて良い」で、いかがでしょうか。
全員	異議なし。
三苦	はい、わかりました。 そして今後、場所を…
角広	それとは違うと思うんですけども、3つ…
三苦	あのですね、今、ごみステーションに対して頻度を増やすべきかどうかの議論をまず最初にさせていただきました。 ご提案の「もっと他の拠点回収場所を増やしたらいいんじゃないか」ということについては、付帯事項で「今後それも考えましょう」という形で、整理させていただきたいと思います。そういった形でいかがでしょうか。
竹原	基本的に、購入した店に回収ボックスがあれば良いわけですから、「そこへ持って行ってください」というのが基本だと思います。問題は、コンビニさんがどこまで整理されているのか分からないですけど、そこを徹底すれば回収率はかなり上がるのではないかと思います。

三 苦	今の頻度はそのままにしておいて、そして色々見たときにどこかが非常に増えたところがあれば、新たな拠点場所を作る可能性は残っていると思っています。 よろしいですか、そういう考え方で。 今、この②に関しては、「カ 変えない」で、ただし、付帯事項で整理する。その考え方でどうでしょうか、角広委員さん。
角 広	私は、拠点回収を増やすことが一番良いと思っております。
渡 邊	拠点回収を増やすことも良いし、必要に応じて増やしていくというのは必要かもしれないですけど、先程マックスバリュの方、段ボールは拠点回収にとって優良ですけど、ペットボトルとか容器プラは配送コストがすごいかかるから赤字ですといった話もされたように思います。 （拠点回収場所を）増やす増やさないかは、今後検討するとして、今、（ごみステーションでの）回収頻度をどうするかと言うことを判断するのなら、変えない方向で良いかと思います。
三 苦	はい、ありがとうございます。 ですので、（拠点回収）場所を増やさないと言っているわけではないですよ。色々検討した結果、増やせる所がもしあれば、増やしたいと思うわけです。 でも、今は（ごみステーションでの収集）頻度を増やすか増やさないかという問いかけです。それぞれ（容器包装プラスチックと発火性有害ごみ）に対して（ごみステーションでの収集）頻度は増やさないという回答にしたいということです。 よろしいですか。それで。
角 広	いいえ、私は、その考えではありません。 だから、会長さんの意見が良いと思われる方が多ければそうなると思います。
三 苦	私からするとですね、違うところを議論しあっていると思います。
角 広	私は...
森坂部長	...あの、今回、市から諮問させていただいてる、容プラとか発火性有害ごみについては、現状全てのごみステーションで回収しているものです。それを市民の方からの要望があるということで、収集頻度を増やすかどうか、ここについて、まずご意見をいただきたいというのが、主旨でございます。 ですので、角広委員のご意見は、「ごみステーションでの回収とは別のところに、拠点施設等を設けてリサイクル率を上げていく方が良いのではないか」というご意見だと思います。それは、会長が言われたように、平行線の部分があると思います。 まずは現状のステーションの収集頻度を増やす方向で検討するのか、現状維持か、そこについて、1つの方向性をお示しいただければ幸いです。 その後にですね、リサイクル率を上げていくために、次どういったことをしなければいけないのか、「そのためには拠点施設を設けよう」という形になっていくものと思います。 ですので、今の段階では、「既存のステーションの収集頻度を増やすかどうか」というところに、ご意見を頂戴できればと思います。

三苦	一応その形で聞いているつもりなのですが... ②については、カのご意見が多いんじゃないかと思っております。 皆さん、いかがでしょうか。
全員	はい、異議なし。
三苦	よろしいですか。はい。 それでは、「変えない」ということで、進めたいと思います。 ③について、次にまた同じ質問をさせていただきます。「増やす方がいいか、変えない方がいいか」ということです。これも、アンケートのご意見などを見ますと、今すぐに変える緊急性はなかったように思っております。しかし、今のこの制度について、何か別のご意見を持ってらっしゃる方いらっしゃいませんか。
角広	私も市民の利便性を考えればですね、これも拠点回収を増やしていく方が良いと思っております。
三苦	先程、市から説明がありましたように、既にあるものに対してそれを増やすか増やさないかというところをまずは先に決めさせていただきたいと思います。 一旦、皆さんのご意見を伺いたいんですけれども、いかがでしょう。
伊藤	③だけ、増やすか増やさないか決めるわけにはいけないので、やはり②と③というのは一緒だと思うので、②を増やさないのだから、③は同じように増やさないということだろうと思います。
三苦	はい、合理的なお話だと思います。 その他、いかがですか。
平野	ただ、この発火性有害ごみの収集日の徹底がされてない。 カレンダーには、きちんと書いてあります。書いてありますけれども、それを逐一きちんと、見てらっしゃる方はどれだけいらっしゃるでしょうか。私もほんと知りませんでした。「あら、これ残つとるんじゃないけどが持つて帰ってくれんのんじゃないね。どしたんかね。」って言ったら、「あんたそりゃあ、年に2・3回しかないんじゃないけ、よう見て出しんさいやあ。」ゆうて言われましたんで、帰ってカレンダーを見ましたら、確かに年に2・3回ぐらいしかないんですね。そこの徹底を少し宣伝していただければ、と思います。 量としては、そんなにたくさんの物ではないです。少ないんです。でも、それがステーションに残っているのは、ちょっと心が痛むんです。ですから、出して良い日にちをきちんと市民の皆さんにお伝えをして頂きたいというのが、意見です。
竹原	失礼な言い方ですけど、それはいくら広報しても一緒です。見ない人は見ないです。元町内会長としては、地域で啓発をするのが一番有効性があると思います。
平野	看板つけますか。
三苦	確かに何か他の方法を探した方が良いかもしれないですね。 今の決まった方法でやり続けても変わらないということだと思いますし、若者向けには若者向けの、コミュニティーがしっかりしているところには、それなりの方法で何かこう整理した方が良いのかもしれないですね。

	③についてですね、皆さんにお伺いしたいんですが、今の形をまとめると、まずはこの間に関しては、カ、つまり「変えない」というところで、ご意見まとまっているかと思いますが、いかがでしょう。よろしいですか。
全員	異議なし。
三苦	ただし、いま付帯事項をいろいろ追加の意見をいただきましたので、(拠点回収の)場所を増やした方が良いのではないかとか、(発火性有害ごみを出す日の)周知徹底した方がいいんじゃないかとかということは、また今後、折を見て、検討していくことになるかと思います。 次に、④に進みます。 ④については、これもアンケート結果を基本にしますか、それほど緊急性が無かったように思いますので、案としては、「クの戸別収集を検討しない」になるのかなと思います。へたに収集の方法を考えると割高な料金が発生してくる可能性もあったりして、今すぐには変えない方が良いのではないかと思います。それに対して、何か別のご意見をお持ちの方いらっしゃいませんか。
角広	私は、やはり市民の要望がありますので、戸別収集を検討するべきだと考えます。
三苦	市民の要望と言いますのは、何かアンケート調査のことですか。
庶務	資料の19になります。
三苦	9ページですね、第1回目の資料の概要のところ、「大型ごみの戸別収集」というところで、「ごみステーションまで運ぶことや工場まで持ち込むことが困難であることが課題とされている」との意見がでありました。ですので、確かに難しいところはあるんですけども、今の方法では...
不明	今は、業者の方が有料で...
三苦	そうですね。運べない方は、業者に連絡をして回収をしていただいている。それが、(市だと)3千円とか何千円とかということに変わるということですよね。だから今の方法で、対策はとれている状況のような気もしますが。 どうでしょう。そういう意味では、40ページで、現状維持のような話とってはいたんですが。
中川	本来ならば、新しく物を買ったときに、業者さんに持って帰ってもらうというシステムが根付いていたと思います。そういったものを利用していけば、そんなに大きな物が出てくることはないと思います。 それから、どうしてもタンスとか持って行かないといけない物、自己責任ということもございますので、何でもかんでもというのは、これからの時代にどうなのという感じもいたしますし、特に自転車なんかは、交換するという方向もありますし、今のままでもいいのかなと思います。 そんなに大きなごみ出ってますかね。どんなごみが大型ごみで出るんですか。
庶務	大型ごみは、圧倒的に自転車が多いです。次に、折りたたみベットですか。他にはオイルヒーターとかラックとかですかね。
竹原	あとソファぐらいですか？

庶務	ソファは、大型ごみではなく、森剛（スプリング入り製品の指定持込み先業者）へ直接搬入していただくようになります。
竹原	そうでした。
庶務	圧倒的に自転車です。
三苦	自転車みたいな物は、無料で処理できているわけですね。それを結局は、業者さんが鉄屑で販売することになるのですよね。 先程から、角広委員がおっしゃっているように、その紙類をですね、そういったことがもし可能になれば、更にコストが下がっていくことが考えられますよね。 ですので、その辺はしっかり検討していくということになっていくかと思います。 とりあえず、大型のごみを戸別収集という意味では、あまりにも極端な例は、自己責任で回収していただくしかなくって、今現状、自転車だとか、そういった物については、ほぼ回収できていて、しっかり回せているわけですので、現状維持ということの意味で、ク「戸別収集を検討しない」というところが、妥当のような気がするんですが、いかがでしょうか、皆さん。 他にございませんか、皆さん、ぜひおっしゃってください。 先程、一人一人お聞きしたらどうかと言うこともありました、そこらも控えたいと思いますので、何かご意見ございましたら、どうぞこの場でしっかりおっしゃて下さい。 よろしいですか。クで整理したいと思んですけども。
全員	異議なし。
三苦	今回のこの審議会では、クで整理をさせていただきたいと思います。 以上、ありがとうございます。 これで方針という意味では、決定したということになります。 そして議論の中で、角広委員から非常にたくさんの貴重なご意見をいただきましたので、それは決して置き去りをする事なく、しっかり拾って、今後、議論を重ねていければと考えていますので、ぜひともよろしく願いいたします。 それでは、これで議事を終えることになります。 次にその3とありますが、庶務から何かございますでしょうか。
庶務	事務連絡。
三苦	そのほか意見はありませんか。意見が無いようなので、令和5年度第2回廃棄物減量等推進審議会を閉会します。

以上